

平成二十七年度 赤須賀神明社石取祭御神事表

一、期 日 八月十四日 叩出・十五日 試楽・十六日 本楽

二、祭車順路 別記のとおりとする。

三、行 事

(1) 叩 出 (八月十四日)

◎祭具清祓式 ◇午前十一時より、各町青年会役員が神明社に参列して斎行する。

◎鉦鼓打始式 ◇午後六時四十分より、各町神社役員が神明社に参列して斎行する。(正装)

祭車の位置は、一番車は宮本町四丁目、六番車は港町六丁目に位置するように、順次午後五時半までに各町所定の位置に整列する。午後七時神楽太鼓の合図と共に叩出し、祭車長より神明社の斎火を受けた後、直ちに提灯に火を入れて七時二十分に一番車より順に曳出し、東に曲がり南進、港町四丁目から港橋を南へ渡り開勢町堤防往復↓市場町↓蛭子町↓辨天町と堤防通りを南進して辨天町南端から北折して中町通りを北進し、複合施設前に至り、午後十二時解散、帰町する。

(2) 試 楽 (八月十五日)

午後六時までに開勢町堤防に、一番車は複合施設前、六番車は門之端に位置するように整列する。午後七時、祭車長より神明社の斎火を受けた後、提灯に火を入れて直ちに曳出し、堤防を南進、辨天町の南端から北折して、北・中・南の各組でそれぞれ町内へ向かう。各組とも祭車委員の定める順路を通って町練りを行い、午後十二時限り鉦鼓を停止する。

(3) 本 楽 (八月十六日)

◎献石祭 ◇十四日に祭車積載で巡行し、神明社通過時に拝殿前へ献石する。(各町二俵ずつ)

◇十六日午前十時に各町神社役員が神明社に参列し、献石祭を斎行する。(正装)

◎渡 祭 ◇各町祭車、順次に神明社へ拝礼、渡祭順幣札を奉納し修祓をうける。

午後六時までに開勢町堤防の所定位置に整列する。午後六時半祭車長より神明社斎火を受けた後提灯に火を入れて直ちに一番車から曳出し、堤防を南進、辨天町南端から辨天町↓蛭子町↓市場町と中町通りを北進し開勢町に出て西進し、開勢町堤防を往復して港橋を北へ渡り港町↓宮本町中町通りを経て神明社に至り、午後十時半二番車渡祭、順次修祓を受けて拝礼を終え、東に曲がり南進し港町四丁目から中町通りに出て南進、港橋を渡り複合施設前にて解散し、神事を終了する。(渡祭を終えた祭車は、順路を練りながら適宜自町へ向かい、帰町と同時に鉦鼓を停止する。)

四、祭車の順番は左記のとおりとする。

区分	月 日	一番車	二番車	三番車	四番車	五番車	六番車
叩 出	八月十四日	辨天町	港 町	開勢町	蛭子町	市場町	宮本町
試 楽	八月十五日	宮本町	港 町	開勢町	市場町	蛭子町	辨天町
本楽渡祭	八月十六日	辨天町	蛭子町	開勢町	港 町	市場町	宮本町

★三カ日とも祭車への点灯は、祭車長が奉持して回る斎火による送り火とし、

前車より順次、祭車委員が神明社斎火を受けた後、自町祭車の点灯を行う。

★神明社前では、鳥居をぬけた後、直ちに山形十二張を立てて祭車を進め、鬼木を神職修祓棧敷櫓の前で停止すること。